

災害等情報（詳報）

鉱種：天然ガス	鉱山の所在地：千葉県					
災害等の種類： 坑外・墜落	発生日時： 令和3年10月4日（月） 14時30分頃 （罹災者発見時刻）	罹災者数	死	重	軽	計
				1		1
罹災者（年齢、職種、直轄・請負の別、勤続年数、うち担当職経験年数） 56歳 工事監理担当 直轄 勤続37年6ヶ月 担当職経験11年5ヶ月						
罹災程度：多発頸椎脱臼骨折、左橈骨遠位端骨折、高エネルギー外傷、左多発膝関節部挫創、右前腕擦過創（休業日数：119日）						
<p>【概要】</p> <p>罹災者は、水溶性天然ガスリフト基地において、請負業者が行う圧縮機配管工事の監督者として同基地を訪れていた。</p> <p>罹災者は、同基地内を巡視した際に、圧縮機室屋根に設置された雨樋に詰まりがあることを発見し、圧縮機室南側の高架オイルタンクの上から圧縮機室の屋根に移った。</p> <p>屋根の上で雨樋の詰まりを解消する作業を終了した後、屋根から降りようと、圧縮機室北側の配管を足場にするため、片足を配管に乗せて体重を掛けようとした時に滑って、約2.7mの高さから墜落した。</p>						
<p>【原因】</p> <p>○安全な足場等がなく、墜落制止用器具が使用できない状況下では高所作業は行わない決まりになっていたが、雨樋の詰まりを解消するため自己判断により単独で作業してしまった。</p> <p>○屋根に上って作業することを危険と認識せずに作業を行った。</p> <p>○雨樋に詰まりがあった。</p>						
<p>【対策】</p> <p>○非常作業がある場合は、作業内容を確認してリスクを特定した上でその対策を上司に報告し、作業実施の承認を得ることとする。</p> <p>○危険感受性及び危険敢行性のチェックリストを活用し、作業者に自身の危険に対する行動特性を理解させた上で、今後の作業の際にその特性を踏まえた注意喚起をする教育を実施する。</p> <p>○社内事故事例集に追加して保存し、定期的の実施している保安教育での教育項目の一つとして教育していく。</p> <p>○今後建設する圧縮機室等については、雨樋は原則設置しない。既存基地に設置済の雨樋については、建物の補修などの計画が生じた際に撤去し、将来的には雨樋を無くしていく。</p> <p>○上記対策が完了するまでの間の当面の管理対策として、雨樋の詰まりを発見した場合、原則として外部の専門業者に依頼することとする。</p>						
<p>【参考情報等】</p> <p>○非常作業前も危険を洗い出し、リスク低減を実施しましょう。</p> <p>○保安意識の低下を防ぎ、向上を心掛けましょう。</p>						

○保護具の点検、着用を遵守しましょう。

○鉱山保安法令及び労働安全衛生法令における参考規定は以下のとおりです。

< 鉱山保安法令 >

●鉱山保安法施行規則

(機械、器具及び工作物の使用)

第12条 法第5条第1項及び第7条の規定に基づき、鉱業上使用する機械、器具及び工作物について鉱業権者が講ずべき措置は、当該機械、器具及び工作物の安全かつ適正な使用方法又は作業方法若しくは作業手順を定め、これを鉱山労働者に周知することとする。

●鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令

(共通の技術基準)

第3条 鉱山施設に共通する技術基準は、次のとおりとする。

- 一 鉱山労働者の安全を確保するため、手すり、さく囲、被覆、安全な通路その他の必要な保安設備が設けられていること。

< 労働安全衛生法令 >

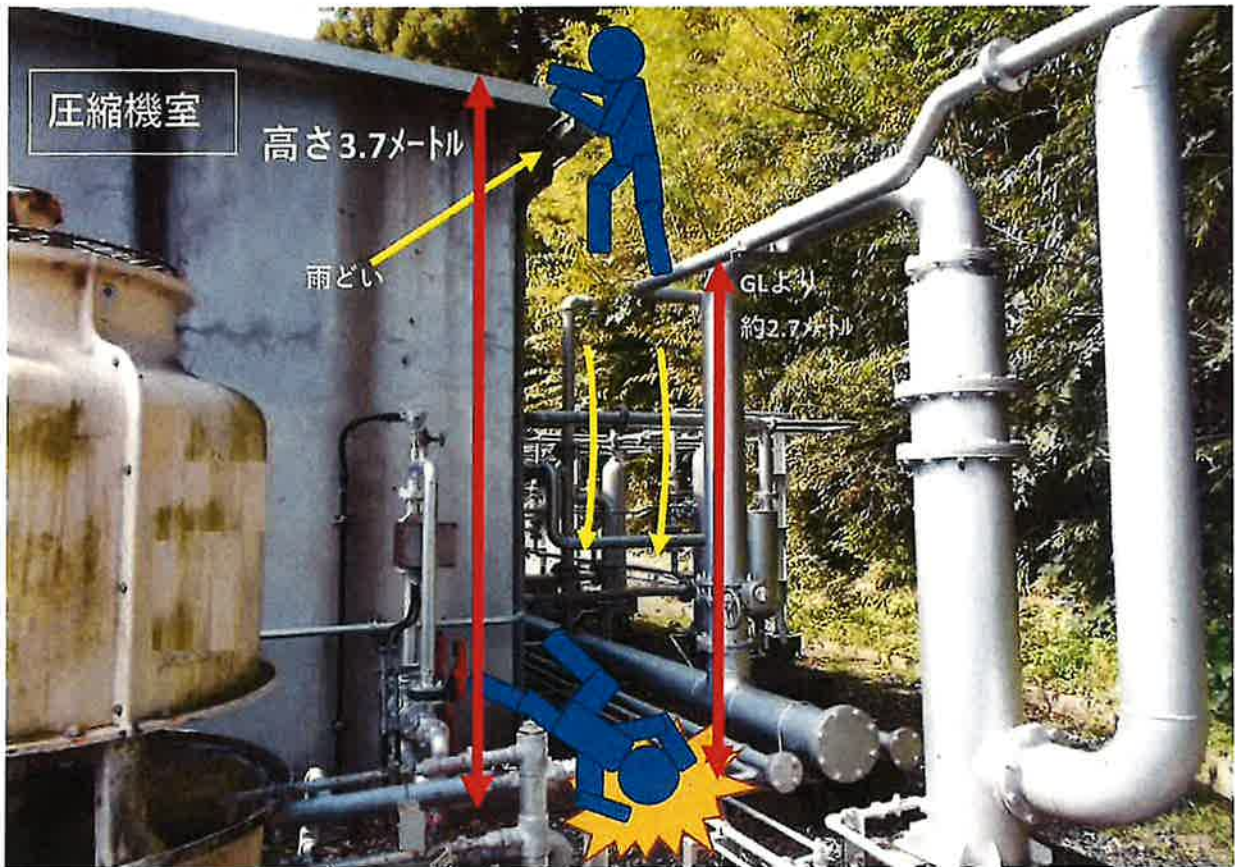
●労働安全衛生規則

第518条 作業床の設置等

【お問い合わせ先】

関東東北産業保安監督部 鉱山保安課 松村 森山 尾崎

電話番号：048-600-0438



罹災者は、屋根から降りようと、圧縮機室北側の配管を足場にするため、片足を配管に乗せて体重を掛けようとした時に、滑って墜落した。